

## 2024年度第1回血液検査機器技術委員会議事録

1. 日時：2024年4月13日（土） 13時00分～13時35分
2. 場所：金沢市文化ホール 3F 第6会議室
3. 出席者（敬称略）：【現地】新保、下村、井上、増田、大川、稲葉、四ノ宮  
【Zoom】高橋、金子、朝比奈、常名、内藤、菅原、今田、  
中西、松田、徳永、小野、春日、奥野（新任）、  
長濱、齊藤、鈴木、遠見、黒川、藤岡、大泉、  
田中
4. 欠席者（敬称略）：林、中山
5. 議題
  - 1) 報告事項
    - (1) 2023年度第2回血液検査機器技術委員会議事録確認  
共有されている議事録の確認をお願いしたい。（新保委員長）
    - (2) 委員交代  
昨年度の会議以降、2名の委員の交代の申し出があった。（新保委員長）
      - ・ 藤野 暢幸委員→奥野 文悟委員（ベックマン・コールター社）  
→学会への入会を確認し、変更届が事務局へ受理されており、理事会の承認待ちの状態である。
      - ・ 齊藤 憲祐委員→後任未定（堀場製作所）  
→室木氏が後任となる。（齊藤委員）  
→入会届を事務局に提出して入会后、委員変更届の提出、理事会での承認をもって委員の交代となる。（新保委員長）  
→5月16日に理事会開催予定 書類提出が間に合うようであれば、そこで委員の交代の承認を得られると思われる。（増田委員）
    - (3) 科学技術委員会第22集マニュアルの執筆依頼  
科学技術委員会より執筆依頼があり、下記のように各委員へ執筆を依頼した。入稿後、2月、3月と現在までに2回ほど校正を行い、発刊に向けて動いている。（新保委員長）
      - ・ ヘモグロビン濃度：菅原新吾委員（東北大学病院）
      - ・ 白血球数：井上まどか委員（群馬大学医学部附属病院）
      - ・ 血小板：今田昌秀委員（川崎医科大学附属病院）
      - ・ PT-INR：下村大樹委員（天理よろづ相談所病院）

## 2) 審議事項

### (1) 第14回血液検査機器技術セミナーについて

測定技術は各メーカー遜色ないが、測定前の処理の部分で各メーカーが切磋琢磨し、色々できるようになっていることがあることから、そのあたりの紹介を考えている。(常名委員)

① テーマ：「ここまで進化したフローサイトメトリー検査」

② 担当：稲葉委員、常名委員

③ 日時：2024年10月6日(日) 9:00~11:10 (130分)

→事務局から9:00~11:40の160分となる旨の連絡があった。(新保委員長)

→内容の追加が必要となるか？(常名委員)

→時間については、今後再変更となる可能性もある。そのため、質疑応答の時間を長く設けるなどの対応で良いと思われる。(新保委員長)

→それでは、現状通りの内容とする。(常名委員)

④ 会場：第4会場/301号室予定

⑤ 内容：講演1 (9:00~10:00)

FCM検査の特徴・最新技術の紹介

(各メーカー担当者、各20分)

1. ベクトン・デッキンソン社

2. ベックマン・コールター社

3. シスメックス社

→セミナーの時間が延びるようであれば、少しここをゆっくりする。(常名委員)

講演2 (10:10~10:30)

検体処理、細胞浮遊液作製の実践

高橋 千由紀 (東京大学医学部附属病院検査部)

講演3 (10:30~10:50)

FCM検査のGatingの重要性

坪倉 美里 (国立がん研究センター中央病院臨床検査科)

講演4 (10:50~11:10)

FCM検査マルチカラー解析

中西 良太 (滋賀医科大学医学部附属病院検査部)

⑥ 今後の予定：例年行われていることとして、

- ・ 日本医療検査科学会のホームページへ掲載する内容の作成

- ・ じほう社の MTJ へ掲載される記事の原稿執筆がある。それぞれ、委員長へ締め切り等の連絡があるので、連絡があれば常名委員へ共有する。

(新保委員長)

→配布資料の作成も必要では？(稲葉委員)

→作成が必要になる。作成されたものを送ってもらえば、PDF にし、日本医療検査科学会のホームページへの掲載を依頼する。(新保委員長)

→各メーカーの方、対応をお願いしたい。メーカー以外の演者については、こちらから連絡をする。(常名委員)

→だいたいの予定については、常名委員へ連絡する。

(新保委員長)

(2) 第 15 回血液検査機器技術セミナーについて

① テーマ：「凝固測定装置の特徴と実運用」

② 担 当：金子委員、井上委員

③ 内 容：第 13 回の内容を凝固検査に置き換えて行う。

第 15 回終わりで補冊を作ることを視野に入れる。

→具体的な内容については、現状まだ決定していない。(金子委員)

→10 月の委員会までに報告できる形にする予定。(井上委員)

(3) 第 16 回血液検査機器技術セミナーについて

① テーマ：「品質保証（精度管理）について」

② 担 当：高橋委員、内藤委員

③ 内 容：ISO 15189：2022 要求事項を満たす品質保証について、各施設での運用から是正方法までを紹介

1) 自動血球計数器の品質保証（演者未定）

2) 血液像の品質保証（演者未定）

3) 凝固機器の品質保証（演者未定）

4) ISO 15189：2022 要求事項について

5) (JAB に演者要請済：演者未定)

→4) 以外の演者については、委員から推薦をお願いしたい。

(内藤委員)

→まだ時間もあるので、演者の推薦等あれば高橋委員、内藤委員へお願いしたい。(新保委員長)

(4) 学会雑誌の補冊の発刊について

12 月くらいから作り始めて、翌年の春発刊の予定のスケジュールとなることが考えられる。まだ、理事会へ諮っていないので、増田委員と相談し

てどのようにしていくかを決めたい。(新保委員長)

→補刷の発刊に関しては、委員会として発刊できるのは年に1冊。

年に2冊分予算としてあるが、科学技術委員会が毎年1冊発刊しているので他の委員会からが1冊となる。

本日の理事会では、他の委員会から補冊の要望はなかったが、本日夕方に開催される委員長会議にて補冊の発刊について議題として挙がるので、その場で手挙げしてもらうことになる。この点に関しては、委員長会議の担当理事でもある中山理事とも相談となる。

基本的には、来年発刊予定ということで、委員長会議、理事会で要望を出すことで対応できる。(増田委員)

→本日の委員長会議にて手上げる。(新保委員長)

① 2020年、2021年、2023年のセミナーで血球計数はまとまるとわれ、2025年度には補冊の発刊を予定。

タイトル：「血液検査に役立つ自動血球計数装置の基礎知識と再検方法および症例解析」

担当：新保委員長、井上委員、常名委員、メーカー委員（基本的な原理）、今田委員をはじめ2023年のセミナーの演者にも依頼。

→ひな形に関してはこちらで作成したいと思う。量としては常名委員、井上委員のページ数が多くなると思われるため、そこは協力する。常名委員とは早めに相談してデータのやり取り等したいと考えている。(新保委員長)

② 2022年、2025年のセミナー内容で凝固の補冊の発刊を予定（タイトル未定）。

担当：新保委員長、下村委員、菅原委員はじめ2022年のセミナー演者、金子委員、井上委員はじめ2025年のセミナー演者にも依頼。

→例えば、「凝固検査に役立つ自動分析装置の基礎知識と再検方法」が無難かと考えている。2027年か2028年の発刊を目指したいと考えている。(新保委員長)

### 3) その他

#### (1) 委員長の交代について

- ・ 委員長の任期については、細則に厳密に4年であると規定されている。  
(増田委員)
- ・ 今年度で任期が終了となる。次期委員長については、稲葉委員とも相談し、金子委員へ打診、内諾を得られている。(新保委員長)

- 出席者からの異議等なく、満場一致で承認を得られた。
- 金子委員から挨拶をお願いしたい。(新保委員長)
- 大役に身の引き締まる思い。補冊の発刊など検討されていることを継続していければと考えている。委員の皆さんの協力を得ながら、これまでの委員長の路線を引き継ぎつつ、皆さんと一丸となって頑張っていきたい。できれば活性化しながら団結して頑張っていければと考えている。ぜひよろしくお願いいしたい。(金子委員)
- 秋の理事会に諮り、正式な交代をお願いする予定。委員長退任後も委員として残る。事務局は下村副委員長と事務局補佐を井上委員が継続するため、3人でサポートできればと考えている。また、委員の皆さんの協力もお願いしながら金子委員のもとさらに発展していければと思う。委員の皆さんの協力もお願いしたい。
- (新保委員長)

## (2) 委員について

- ・ 委員の任期は既定されていない。(増田委員)
- ・ 委員の交代については、必要な書類と手順についてまとめ、今後事務局が窓口となるような手順とすることを考えている。まとめたものについては、今後共有する。(新保委員長)
- ・ 委員になるにあたり、評議員である必要があるか？(稲葉委員)  
→委員については、評議員であることは細則上既定されてはいない。  
(増田委員)  
→井上委員が委員となるときは、求められたと思われるので、可能な限り評議員から委員になってもらうもしくは委員から評議員を出していったほうがより良いと思われる。(稲葉委員)  
→稲葉委員のご指摘の通り、それが望ましいと思われる。推薦については、対応可能であるため、まだ評議員となっていない委員がいれば相談ください。(新保委員長)

## (3) 委員会内規について

- 理事会にて、委員会内規が作成されていない委員会があるとの報告があり、本委員会も未作成であることが分かった。本日の委員長会議にて作成指示が出る予定である。(増田委員)
- すでに作成されている委員会の内規を参考に作成する。稲葉委員、増田委員には確認をしてもらい、事務局へ提出することを予定する。